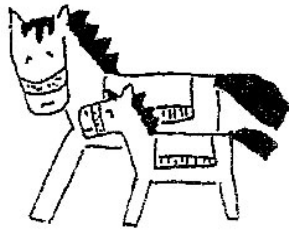


お馬のかあさん
やさしいかあさん
子馬をみながら
ぽっくりぽっくり
あるく

おうまのおやこ

子育ても
あせらず待ちましょ
ポックリ、ポックリと



令和5年 3月 No. 340

〒 760-0044 香川県高松市御坊町2-2
高松第二保育園内地域子育て支援センター
TEL:087-821-9347 FAX:087-851-0857
<https://oumanooyako.com>



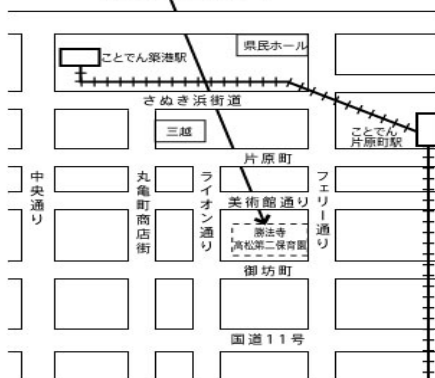
(厚生労働省・高松市委託事業)

～どなたでも～		3月の主な活動	～お気軽にどうぞ～
3月 3日 11日 24日	金	ヨーガを楽しむ会 14:30～16:00	自分の体と相談しながら無理せず続けています。 はじめての方もどうぞ。
3月 16日	木	こうさぎおはなし会 15:00～16:00	小さいお子様も楽しめるおはなし会です。
3月 7日 28日	火	体験保育 15:00～17:00	暖かい日は園庭で遊びましょう。
3月 17日	金	香川みすゞさんの会 14:00～16:00	「みすゞさん人形」ができましたのでご披露し、 久しぶりにみんなで詩を読みましょう。
3月 18日	土	子育てに役立つ小物づくり 14:00～16:00	あてっこのクイズ、お話クイズに使える 画用紙マジックシアターを作ります。
3月 23日	木	自然の中の遊び体験 13:30～15:30	葉っぱの赤ちゃんを見つけて、成長したら どのようなになるか想像してみましょう。

・火～土の9:00～18:00までは、園内開放して
いますので、親子でご来園下さい。
(但し、月・日曜・祭日は休み)

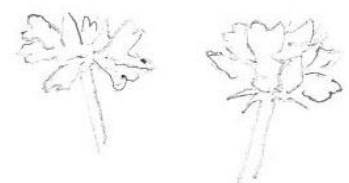
育児相談(月～土) 9:00～18:00
しつけや子育てについての悩み、保育園生活
入園・見学についての相談もどうぞ。

香川県高松市御坊町2-2
地域子育て支援センター



金子みすゞ童謡全集①
美しい町・上より

梨す げす 咲す ちす
かす んす んす んす いらす
れす げす 煙す がす 花す
かす れす ますす 。



☆今月の内容 — ・いきなりほかのお母さんから注意され、納得がいきません
・子どもどうしのトラブルで、相手のお母さんの目がつらいです
「三歳までの子どものこころ相談室」小柳 晴生著 より

子育て支援センターQ&A より

小柳 晴生 著

◎親どうしのトラブルで困っています

① いきなり他のお母さんから注意され、納得がいきません

三歳の男児です。習いごとの教室でトラブルがありました。初対面の母親から『うちの子が何もしていないのに、お宅のお子さんにいきなり突き飛ばされた』と言われました。

友達らしい母親も『わたしも見ていた』と言います。私はその場にいなかったのですが、子どもは相手の親の剣幕に押され、ただ泣くばかりでした。うちの子が意味もなく乱暴をするとは思えません。その場で自分の子どもに対して十分な手当ができず悔しさが残りました。どう対処すればよかったですのでしょうか。

A. まずはお子さん、そしてお母さん自身の心の傷を手当することではないでしょうか。

相談は、母親の見ていないところで、子どもどうしのトラブルが起こり、他の保護者から注意されたとのこと。普段の子どもの様子からして、乱暴したと思えず納得がいかない気持ちが伝わってきました。子育て中には、予想外の出来事に遭遇します。今回の事件もそのひとつでしょう。相手の対応で穏便に収まることもあれば、嫌な気持ちが残ることもあります。この場面では、どう対処したらよかったですのでしょうか。

一般的にはまず、何があったのかを明らかにしようとするでしょう。本当に他の子を突き飛ばしたのか、もしそうならそれに先立ってどんな経緯があったか、などです。相手の子が先に手を出したことも考えられるからです。

この方法は正攻法ですし真相が判明すればよいのですが、「藪の中」のように、なかなかわからないものです。相手と穏やかな話し合いがもてない場合は、平行線をたどるばかりです。納得できないかもしれませんが、どこかで退くしかありません。今回はそうされたのだと思います。大切なのはこれからです。まずは理不尽に悪者にされて傷ついた子ども



の手当をすることです。思いがけない不都合に巻き込まれると心に傷を負いますが、その後の手当が良ければ傷が残ることはないのです。

何度も『大変な目にあっただね』と言葉を添えながら、心の傷にあてたガーゼの取り換えが必要です。そして母親自身の心も傷ついています。夫や身近で信頼できる人に悔しさなどを話して、手当することをお勧めします。

それにしても心の傷はやっぱり痛くてつらいものです。「日にち薬」という言葉がありますが、時間が最良の薬です。三日間はあまり悪あがきしないで、うずくまるぐらいの過ごし方をしていると、気がつくとき苦しさが薄らいでいるかもしれません。



② 子どもどうしのトラブルで、相手のお母さんの目がつらいです

六歳女兒と二歳男児の母親です。二歳の長男のことで相談します。長男はよく友達とけんかをしたりトラブルを起こします。その度に相手のお母さんから白い目で見られてつらい思いをします。子どもに聞くと『相手が先にたたいたから』と言います。そのことを相手のお母さんに伝えたいのですが、言い訳に聞こえるし、子どものけんかに口出しをするようで、言えません。外で遊ばせないわけにはいかないし、いろんな経験もさせたいので気を使いながらも、しんどく感じています。どうしたら親どうし仲良くできるのでしょうか。

A. 自分が困っていることを率直に話すこともできます

二歳の長男が友達とのあいだで、よくトラブルを起こすので、相手の母親との関係でつらい思いをされているとのこと。我が子だけが一方的に悪者扱いされているようで、その誤解を解けないもどかしさも感じているようです。

「どうしたら親どうし仲良くできるのでしょうか。」とのご質問です。誤解を解こうとして、いきなり『うちの子だけが先にたたいているわけではない』と言うとこじれそうです。もし可能であれば、『うちの子は友達と仲良くしたいのにうまくできなくて、迷惑をかけているのではないかと気にかかっています』と、率直に困っていることを伝えてはいかがでしょうか。『子どものことですから、たたいたりたたかれたりするの

は、お互い様です』という一言が返ってくるとよいのですが。

これが糸口になって、相手の母親が自分の子どもの気がかりを話してくれるかもしれません。気がかりを安心して話せる関係が、質の良い人間関係と言えるでしょう。しかし相手のあることですから、うまくいくとは限りません。かえって責められてしんどくなる展開になることも考えられます。

ここは無理をしないで、積極的に子どもどうして遊ぶことを勧めないで、母親との遊びを中心にすることも考えられます。二歳という年齢では、子どもどうし関心を示すかもしれませんが、大人が考えるような「一緒に遊ぶ」ことは、まだ成り立っていないのです。友達との関係をもつ機会を少しでも増やしたいと考えているかもしれませんが、人間関係の基礎は、母親とのあいだで身につけてくるものです。

いまは、母親との心のつながりをよりいっそう確かなものにするよう、時間を使っても良いのではないのでしょうか。

「三歳までの子どものこころ相談室」より



小柳 晴生 (おやなぎ はるお)

1950年、石川県生まれ。

金沢大学卒業、広島大学第学院修士課程修了。

広島大学、および香川大学の保健管理センターで22年間学生相談カウンセラーをつとめる。

2001年より香川大学教育学部に移る。

香川大学教育学部教授、保健管理センター所長、放送大学客員教授を経て今に至る。

カウンセラーとして人に「ゆっくり自分と付き合う時間」をもつことを援助していきながら、忙しさで自分を省みる余裕さえない“ねじれ”た生活に疑問を感じるようになり、2005年に55歳で大学を早期退職——瀬戸内海が眺められる里山で「半隠居生活」に挑戦して17年になる。

「自分と付き合う時間」を味わう静かな生活をとっていたものの、草刈やストーブ用の薪づくりなどに振り回される毎日である。

2006年、日本人間性心理学会学会賞を受賞。

この書籍をご希望の方は、書店では販売していないかもしれませんが、アマゾンなど通販をご利用ください。

小柳先生より